

小学生の歩行中における交通事故の特徴について

1 過去5年間における小学生歩行中の交通事故（※死亡・重傷）の特徴

- 小学校低学年（1年生・2年生）の死傷者数が最も多く、学年が上がるのに反比例して減少傾向
- 新入学期の4月、通学に慣れた5月、日没が早くなり始める10月に交通事故が多発
- 午前7時台、午後3時台～午後5時台に多発（登下校中が約3割、私用中が約7割）
- 事故の約4割が飛び出し

2 事故防止のポイント（保護者向け）

- 横断等で道路に出るときは、左右の見通しの良し悪しにかかわらず、突然飛び出さないように「止まる・見る・待つ」を繰り返し教えてください。
- 道路を横断するときは、左右をよく見て安全を確かめてから横断を始め、横断中も車や周囲の様子に気を付けることを繰り返し教えてください。
- 横断歩道が近くにあるところでは、その横断歩道で横断することを教えてください（法令の義務があります。）。
- 近くに横断歩道など安全に横断できる施設がないときは、道路がよく見渡せる場所で、車が近付いてこないことを確認してから横断することができますが、できる限り横断歩道を横断するように教えてください。
- 子供は、興味のあるものや知っている人を見かけると、いきなり道路に飛び出すことがあるので、一緒に出かけるときは、手をつないだり、目を離さないようにしてください。
- 離れた場所から子どもを呼ぶと、周りを確認しないで近付いてくる場合がありますので、保護者の方から近付くなど事故に遭いそうな状況を作らないように配慮してください。

思いやり交通ちば
～2020こども版～

どうろをあるくときの
3つのやくそく

こうつうじこにあわないように
みんなやくそくしてね!

1 どうろをあるくときは
右のはしをあるきます

ほどう（ひとがあるくばしよ）
のあるところでは、
ほどうをあるきます。

ほどうのないところでは、
どうろの右のはしを
あるきましょう。

2 どうろをわたるときは **ちゃんと**
とまって **右・左・右**手をあげて
車がとまったら わたります

ちよつととまって みぎ ひだり
みぎ てをあげて くるまがとまったらわたります

3 しんごうは **青**のときだけ
わたります

わたっているときも
右・左を
よく見ながら
わたしましょう。

チカチカしたら、
涙の音まで
まつよ!

千葉県・千葉県交通安全対策推進委員会